

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大阪府の文化遺産を活かした地域活性化計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>大阪府では文化財・文化遺産に関わるプランとして、『大阪の教育力向上プラン』（平成21年1月）と『第3次大阪府文化振興計画－大阪文化振興新戦略－』（平成25年3月）を策定している。『大阪の教育力向上プラン』は、大阪府内に所在する多くの文化遺産を、地域に根ざした貴重な教育資源として活用することで、郷土への誇りを形成するとともに、大阪の伝統、文化を尊重する心を育むことを提唱している。また『第3次大阪府文化振興計画－大阪文化振興新戦略－』は平成18年度に策定した「おおさか文化プラン（大阪府文化振興計画）」、平成22年度に策定した「大阪文化振興新戦略（第2次大阪府文化振興計画）」を発展させたもので、地域の文化力が都市の魅力を高めるとの視点に立ち、「文化自由都市、大阪」を実現すべく、「文化創造の基盤づくり」、「都市魅力の向上」、「人と地域のエンパワーメント」を3つの柱とする。いずれも本府の文化財・文化遺産の保存並びにその積極的な活用の基礎となるものである。今回、大阪府ではこれら二つのプランの実現に寄与すべく、大阪府民が郷土の文化遺産に強い愛着と誇りをもって保存・継承していくことを推進するとともに、その活用と公開を通じてこれらの文化遺産を大阪の新たな魅力や観光資源として積極的に内外に発信するため、下記2事業を計画した。</p> <p>1 文化遺産総合活用活性化事業（平成25年度～平成33年度予定） 2 大阪の文化遺産総合活用事業（平成29年度～平成33年度予定）</p> <p>1は大阪府に残る数多くの建築遺産を再発見し、積極的に町の魅力として活用する事業、2は大阪府を南北に貫く「街道」に着目し、市町村の枠を超えて沿線に残る文化遺産の魅力を発見、発信する事業である。今年度より大阪府全域にその範囲を広げ活動をしていく予定である。これら事業の実施によって、大阪府に残る数多くの文化遺産に新たな魅力を見出すとともに、文化遺産に対する府民の理解を一層深め、次世代の新たな担い手を育成し、伝統を踏まえた更なる地域発展が実現するよう努めるものである。</p>			
6 実施体制			
<p>事業の実施にあたっては大阪府が計画全体を把握し、その企画、調整、事業実施にあたっての指導・助言を行う。担当課は大阪府教育委員会事務局文化財保護課（文化財企画グループ）である。</p> <p>上記1～2の事業については下記の実行委員会が実施する。</p> <p>1 実施団体：公益社団法人大阪府建築士会（会長 岡本森廣） ※大阪府教育委員会、大阪府登録文化財所有者の会が事業協力予定</p> <p>2 実施団体：大阪の文化遺産総合活用実行委員会（委員長 本寺昭良）</p> <p>1の事業は、ヘリテージマネージャー育成及び建造物を中心とする事業であり、古建築・近代建築や構造、耐震に関する専門知識及び建築に関わる現行法制度の専門的知識等を必要とすること、2は大阪府でも「河内」という広域にわたる地域で育まれた歴史文化遺産を文化的視点に加え観光資源的な視点から構成することを目的とすることから、本府では2つの実行組織をもって事業遂行にあたるものである。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 55,850 千円	平成29年度申請額： 17,175 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>a. 文化遺産に対する理解の深まり 文化財の一斉公開、講演会、ホームページ等、大阪府全域に展開する広域的な公開・展示活動を展開しており、活用の手法も歴史・文化に加え民俗、生活文化にも広げることによって、地域の文化遺産へのさらなる関心を高めることができる。</p> <p>b. 支援者の増加 地域において積極的に文化遺産の魅力を発掘し、発信する人材「ヘリテージマネージャー」を育てることができる。また各種取り組みによって府民の文化遺産への理解が深まることが期待できることから、本事業の実施によって文化遺産を守り、活用することへの理解者を増やすことができ、その結果として活動への支援者の裾野を広げることができる。</p> <p>c. 取り組みの強化と継続性 本事業を通じて文化遺産の価値を再認識することにより、関係者の結束が強まり、一層の活動強化と継続的な取り組みへの発展が期待できる。</p> <p>d. 関連機関の連携強化 上記の取り組みを通じて、本府内の所有者、保存団体、観光団体、研究者、行政等の交流が進み、連携を図ることができるようになる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

本事業で取り上げる文化遺産は多数の自治体に渡っており、関係する自治体における歴史文化基本構想の検討を促し、これを支援する。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	大阪府教育庁文化財保護課
-----------------	--------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	大阪府内の登録文化財に関する情報発信数			関連事業:	①②③④⑤⑥	
目標値 1 :	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 400 件					
設定根拠 1 :	大阪府登録文化財ポータルサイトに掲載された、大阪府内の登録文化財を活用したイベント数 (毎年のイベント数を100件に設定)					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	件
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	大阪府内の文化遺産を紹介する展示会への来場者数			関連事業:	⑦⑧	
目標値 2 :	平成 28 年度 17,400 人 ⇒ 平成 33 年度 18,400 人					
設定根拠 2 :	大阪府内の登録文化財建造物 (3ヶ所程度) で開催する写真展への来場者数。毎年の増加率を200人に設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	人

事業④：	登録文化財の活用を通して保存を学ぶ	実施団体：	公益社団法人大阪府建築士会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	本事業の目的は、登録文化財の所有者とその活動支援・協力者を含む一般市民が登録文化財の活用について、実地にかつ詳細に学習するための学習会の実施である。会場は全て登録文化財建造物を使用し、受講修了者は文化財活用の詳細な知識と実行能力を身に付けると同時に、その保存についても認識を深めるとともに文化財周辺の街並み観光ガイドとしての能力を得ることも可能である。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	講座受講生が翌年度以降に実際に活動を行った人数					
目標値：	平成 28 年度		0 名	⇒	平成 33 年度 60 名	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	
事業⑤：	登録文化財の一斉公開	実施団体：	公益社団法人大阪府建築士会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	普段はあまり公開されていない民家を中心に、地域ごとに登録文化財の一斉公開を行なうシリーズものの事業である。所有者とその支援者が直接見学者に説明しながら見学する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	会場所有者並びに関係者のフェイスブックでの「いいね」の数					
目標値：	平成 28 年度		0 回	⇒	平成 33 年度 1,000 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
事業⑥：	大阪府登録文化財の保存と活用の実践的展開について	実施団体：	公益社団法人大阪府建築士会			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	登録文化財所有者の理解向上のため、建築や税務などの専門家を招いて討論会を行う。また登録文化財の活用状況等の実態をヒアリング等により調査し、その内容をまとめた資料を作成し広く一般に公開する。平成28年度からの継続事業である。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：						
目標値：	平成 29 年度		部	⇒	平成 33 年度 部	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
部	部	部	部	部	部	

事業⑦：	文化遺産情報総合活用アプリの開発					実施団体：	大阪の文化遺産総合活用実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	文化財のデータベースを元に、リアルタイムで文化財の情報収集ができるアプリを作成し、河内や大阪を訪れた国内外の人たちに地域の歴史や、文化財の歴史的背景とその重要性などをリアルタイムで親しんでもらうようにする。また次段階では基本的な問合せや多様な通報などに対する多言語化システムにも連携させる。										
評価指標区分：	・アプリ等のダウンロード数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	開発アプリ等のダウンロード数										
目標値：	平成 28 年度		0 回		⇒	平成 33 年度		10,000 回			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
回	回	回	回	回	回						
事業⑧：	登録有形文化財啓発周知プロジェクト					実施団体：	大阪の文化遺産総合活用実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	大阪府内の登録有形文化財写真展及び、高野街道を中心とした大阪の街道文化の“日本遺産”登録を目指した啓発講演会を、登録有形文化財所有者の会と連携して開催する。写真展示した登録有形文化財はホームページでも掲載し発信していく。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	府下文化財の活用への協賛企業団体及び協力市町村数。										
目標値：	平成 28 年度		21 社		⇒	平成 33 年度		100 社			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
社	社	社	社	社	社						